

~~~~~  
時 報  
~~~~~

昭和11年度螟蟲及浮塵子等の防除に関する試験研究打合せ記事

例年の如く農林省に於て昭和11年4月7日(火)から9日(木)まで開催され、
下記の如き報告があつた。

東京帝大農學部 螟蟲に関する研究報告

螟蟲の分類及び分布に関する研究

二化螟蟲の趨光性並に習性に関する研究

二化螟蟲の嗅覺反應及び嗅覺器官に関する研究

九州帝大農學部 浮塵子驅除豫防試験

特に重要な種類の基本的調査

天敵に関する研究

ツマグロヨコバヒと稻萎縮病との關係に関する研究

愛知縣立農事試験場 螟蟲驅除豫防試験

愛媛縣立農事試験場 螟蟲防除試験成績

長崎縣立農事試験場 螟蟲天敵利用に関する試験成績

大分縣立農事試験場 稻萎縮病防除試験成績

浮塵子驅除豫防試験成績

靜岡縣立農事試験場 二化螟蟲天敵利用に関する試験成績

第7回日本農學會大會記事

同大會は4月4日(土)から開催されたが第5部會應用動物學會は4月5日
(日)東京帝大農學部動物學教室第6講義室で開催された。そのうち昆蟲に關する講演は下記の通りである。

講演題目

各種人工孵化法を施されたる蠶卵の酸素吸入量	東 大	福 田 仁 郎
臺灣産未記録の稻の螟蟲に就いて	臺灣糖試	飯 島 鼎
稻切蛆に関する研究	大原農研	春 川 忠 吉
二化螟蟲の羽化期に就きて	大原農研	春 川 忠 吉
二化螟蟲の光に對する反應潜刺激時	農林省農試	八 木 誠 政
第1化期二化螟蟲の稻の分蘖及び收量に及ぼす影響	農林省農試	河 田 薫
誘蛾燈に就いて	農林省農試	彌 富 喜 三
苗代期に於ける二化螟蟲卵寄生蜂ズキムシアカタマ ゴバチの寄生率に就いて(第4報)	東京高農 農林省農試	石 井 悌 三
		彌 富 喜 三

絶食蠶兒の生理作用と温度並に湿度との關係(第2報)	東大農學部	濱 次 雄
マツケムシ卵期發育に及ぼす温湿度の影響	東大農學部	小 島 俊 文
燻蒸に於ける温度の影響(第1報)	農林省農試	尾 上 哲 之 助
昆蟲の生理作用に對する有毒藥劑の影響(I) 諸種の藥劑の脈膊に對する影響	京大農學部	西 川 彌 三 郎
朝鮮木浦に於ける綿の蚜蟲類特に1未記録種に就いて	盛岡高農	進 士 織 平
小麥の穂を害する癭蠅類	農林省農試	湯 淺 啓 温
昨年岩手縣下に大發生したダイヅクキタマバへ	農林省農試	湯 淺 啓 温
臺灣の蚤類に就いて	臺灣中研	大 森 南 三 郎
蠶兒飼料としての柘 <i>Cudrania Triloba</i> Hance 葉 の價值に就て	福島蠶校	永 盛 新 三 郎
半翅類數科の染色體型に就いて	東大農學部	利 岡 靜 一
スズムシに見られる間性の新しき型と其の遺傳に就 いて	三重高農	大 町 文 衛
二化螟蟲の發生と被害に就いて	愛知農試	尾 崎 重 夫

會 報

第 13 回 評 議 員 會 及 例 會

4 月 6 日午後 5 時より評議員會及例會をレインボーグレルに於て開催した 評議員會
には 9 名出席あり會則の一部を下記の如く變更す。

第 7 條 本會に入會せんとする者は住所、姓名、職業を記し會費を添へて本會事
務所に申込むべし。

役員改選、評議員推薦あり、満場一致を以て次の如く決定す

役 員 (昭和 11 年度)

會 長 佐々木 忠次郎氏

幹 事 全部重任

評 議 員 石 井 悌氏 内 田 登 一氏

會計幹事より昭和 10 年度會計報告あり。庶務幹事より交換寄贈の報告あり、終つて
21 名食事に出席、例會には 46 名出席下記の講演ありて盛會を極めたり。

「南洋歸來談」

江 崎 悌 三氏

「昆蟲の發する可聴音波と其の聴えに就いて」

田 口 湧 三 郎氏